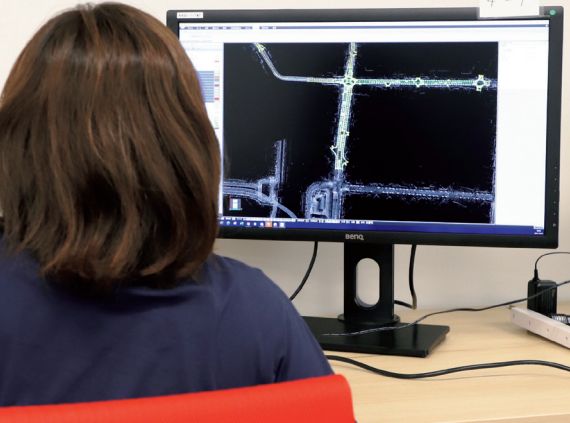




KADOが最先端の技術を支える

全国的に注目を集めている自動運転技術。本市でも、昨年度から自動運転に関する実証実験を実施しており、KADOでは、自動運転車両の制御に使用する高精度3次元地図を作製しています。自動運転業界におけるKADOの活躍を、関係企業にインタビューしました。

安定かつ高品質の業務実績。
クライアント企業の社会的価値の向上にも寄与

KADOでは、平成28年から高精度3次元地図の製作を行っています。企業が取得した高速道路などの実測データを基にKADOで高精度3次元地図の原型となる画像を作製。最終的にはCADデータに落とし込みます。

地図作製を発注しているアイサンテクノロジー(株)の佐藤直人さんは「業務には高度なスキルが必要ですが、KADOでは採用・人材育成・マネジメントを一貫して行うことで、高い水準のデータを作製していただいております。企業としても安心して依頼することができています」と語ります。

また、KADOと連携すること、企業の社会的な責任(CSR)を果たすことにつながり、企業価値の向上が



アイサンテクノロジー(株)
取締役 モビリティ事業本部長

佐藤 直人さん

期待できると佐藤さんは語ります。「企業として新たな事業の可能性を広げることに、つながったため、今後も良きパートナーとして連携していきたいと考えています」

全国に例のない自動運転の「地産地消」モデル。塩尻市にしか実現できない強み

本市では、昨年度から自動運転の実証実験をアイサンテクノロジーなど複数の企業と連携して行っています。自動運転に使用する高精度3次元地図は、定期的な更新が必要となりますが、地図作製を地域に根差したKADOが担うことで、地域の人たちが地図の品質と鮮度を維持することができます。佐藤さんは「現在の実証実験はもとより、将来的な自動運転技術の社会実装時にも技術やサービスの地産地消が可能となるため、首

自動運転のEVバスに試乗してみませんか

本市では、より暮らしが便利になる公共交通を目指し、昨年度から自動運転車両やAI活用型オンデマンドバスなどの実証実験を行っています。昨年度に続き、今年度も自動運転バスの実証実験を実施します。今回の自動運転は、「自動運転レベル2※」の実証実験となります。一般試乗を行いますので、この機会にぜひ最先端の技術を体験してみませんか。

※自動運転レベル2…自動運転にはレベル0～5の6段階のレベル分けがあり、「レベル2」は運転者が操作の責任を持った上で、特定の条件下においてハンドルやアクセル、ブレーキなどの操作をシステムが自動で行う状態を指します。

■期間 11月24日(水)～28日(日)

※27日(土)・28日(日)は、若年層への社会受容性向上を目的に高校生以下限定の試乗とさせていただきます。(小学生以下は保護者の同乗が必要)

■運行ルート 広丘駅西口～無印良品ツルヤ塩尻広丘店の区間

■時刻表

○広丘駅⇒無印良品(往路)

	1便	3便	5便
受付	9:50	11:40	14:20
広丘駅西口	10:00	11:50	14:30
無印良品	10:30	12:20	15:00

○無印良品⇒広丘駅(復路)

	2便	4便	6便
受付	10:20	13:10	14:50
無印良品	10:50	13:40	15:20
広丘駅西口	11:20	14:10	15:50

■定員 1便7人(先着順)

■運賃 無料

■予約方法 右のコードからお申し込みください。

■乗車方法

受付時間10分前に、北部交流センター「えんてらす」1階交流スペースにお越しください。申し込み方法などの詳細は、市ホームページをご覧ください。

※乗降時はドライバーの指示に従ってください。

※遅れた場合はバスにご乗車できない可能性があります。

【お願い】公道を時速20kmで走行するため、周辺の渋滞が予想されます

今回の実証実験では、時速20km未満で公道を走ることができる電動車を使用した「グリーンスローモビリティ」に取り組みます。グリーンスローモビリティの導入により、地域が抱えるさまざまな交通課題の解決や低炭素型交通の確立が期待されます。

実験期間中、自動運転バスの走行ルート周辺を利用される皆さまにはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

最後に佐藤さんは、KADOへの期待を語りました。「働き方が日々変化していく現代に、KADOはマッチしていると思います。首都圏の企業が地方に進出しようとする場合、サテライトオフィス(支店)を構える方法が一般的ですが、KADOを基軸に据えることで弊社のようなモデルも今後生まれてくると思いますし、そういった地方と首都圏企業をつなぐ役割には大きな可能性が秘められていると思います」

地方と首都圏企業をつなぐ役割に期待

都圏企業から地域への業務継承にかかる時間やコストが削減できます」とメリットを語ります。

11月には、本市をフィールドに新たな実証実験が行われ、新型のEV車両(電気自動車)が初めて公道を走行します。今後の展望について佐藤さんは「今後も継続して実証実験を重ねながら、将来的な移動手段としてだけでなく、観光イベントなどの市民参加型コンテンツにも活用していきたいですね」と語ります。

問 (一財) 塩尻市振興公社 ☎0263⑤0802



運行車両の紹介

電動で走る脱炭素エコカーです。最高速度は時速19kmで、車内には手動車椅子用スロープなどがあり、安全で地球にも人にも優しい未来の乗り物です。

■自動運転バスのルート



これまでKADOでは、テレワーカーたちがITスキルを身に付けて、子育てや介護、自身の体調などと両立しながら無理なく働ける環境づくりをしてきました。特に、テレワーカーが子育てと両立して働ける環境は、KADOのスタート時から変わらず提供できていると感じています。KADOの目指す姿はまだ道半ばです。「働きたい時に働ける場所」という姿は、スタッフがテレワーカーやクライアントに提供するものではなく、KADOに関わる人全員で創出することが大切です。KADOの経営理念は「ひとりひとりのライフスタイルに応じた働く場をみんなで作ることで地域社会に



KADOテレワーク推進事業
チーフマネージャー
柳澤 佳子さん

KADOに関わるすべての人で働く場所を創出する

貢献する」です。KADOが発展・継続するためには、関わる一人ひとりが、自身の役割を持ち、この場所を続けていきたいという思いが必要だと感じています。今後も、多様な人が働ける場所として、テレワーカーが一人でも多く働けるよう、幅広い業務を受注できるようにしたいです。クライアントから多様なニーズをいただいております。例えば、日中は難しいけれど夕方に働きたい人、土日に働きたい人など、多様な人のチームワークでニーズに応えられるようにしたいと思っています。「働きたい人たちが全員が安心して働ける」。KADOを通してそんな未来を実現したいですね。

「働きたい人が働ける場所をみんなで作る」 KADOが生み出す塩尻の可能性



副市長
米窪 健一郎

さまざまな事情で働きたいけれど働く場所がない人の受け皿として、KADOは重要な存在です。今後市役所では、市民の皆さんの多様化するニーズに応えるべく、専門的な業務に注力できる体制を整えていく必要がありますが、その時にKADOへバックオフィス業務の委託を選択できるのは大きな強みです。KADOの存在は、本市のDX推進にも大きな可能性をもたらしてくれました。小・中学校では、サポーターの皆さんにより、タブレット端末などを活用した新しい切り口の教育を展開しており、自動運転実証実験やオンデマンドバス「のーと」は、KADOへの業務発注がきっかけとな

KADOが起点となり、市に大きな波及効果が生まれる

り、都市部企業との官民連携事業につながりました。KADOのクライアント企業が単なる業務発注に留まらず、DX推進のパートナーとして先進的な事業を展開していくという良い波及効果が生まれています。また、地域のデジタル格差解消の原動力にもなっています。KADOの仕組みは、他自治体へ広がり始めており、スタッフ・テレワーカーの皆さんにはその最先端を担っていただき感謝しています。また、近い将来、デジタルデータの活用が行政でも求められる時代が来ると思います。その中でデジタルスキルを持ったテレワーカーの皆さんは貴重な人材ですので、より一層の活躍を期待したいですね。

※デジタルトランスフォーメーションの略。デジタル技術による社会変革のこと

KADOで自分のライフスタイルに合わせた働き方をしてみませんか。

登録方法

1 KADOホームページにあるお問い合わせフォームまたは電話でお申し込みください。
🌐 <https://kado.shiojiri.com/>

2 担当者から折り返しメールまたは電話で面談日程を調整します。

3 面談日当日は、次のことを行います。
○KADOの説明（20分程度）
○面談（20分程度）
○パソコン操作の確認（10～15分程度）
（Windows基礎、Excel基礎、ブラウザの基礎知識）
○システムへの登録手続き（10分程度）

当日の持ち物

- 写真を貼った履歴書（市販可）
- 本人確認書類（運転免許証、健康保険証など）

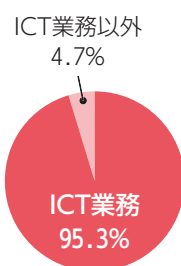
※面談方法は、対面またはオンライン（Zoom）のどちらでも可能です。

Q. KADOでどんな働き方ができるの？

A. 皆さんの生活や事情に合わせて、自身で時間を組んで仕事をしていただいています。ワークスペースでの業務と在宅業務をバランスよく組み合わせて、平日午前9時～午後5時半の間、働きたい曜日、働きたい時間帯に仕事が可能です。

Q. どんな業務をしているの？

A. パソコンを使ったICT業務が大半を占めます。



主なICT業務

- データアノテーション
- 次世代交通推進業務
- バックオフィス
- 行政外部委託業務
- 自治体事業支援
- その他

編集後記

市内に住む「働きたいけれど時間に制約のある人」のために始まったKADOは今、県内外問わず登録者がおり、「好きな時に、好きな場所で働ける」環境を実現しています。

KADOのネットワークが新たなつながりを作り、さまざまな場面で暮らしの質を上げ、地域を発展させていく。今後、この数年間で蒔いた種が花を開き、塩尻の地域発展だけでなく、他地域の発展にもつながっていくことでしょう。

